

平成27年2月14日

珠算・電卓実務検定試験場校  
高等学校長 殿  
検定担当者 殿

公益財団法人全国商業高等学校協会  
珠算・電卓研究部  
部長 長船孝明

### 全国高等学校珠算・電卓競技大会の同点決勝の取り扱い変更について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から珠算・電卓実務検定事業等に格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年8月2日の全国高等学校珠算・電卓競技大会打ち合わせ会で都道府県競技委員の先生方にお話をさせていただきましたが、標記の件につきまして競技の円滑な運営をする為、下記のとおり変更いたしますのでよろしくお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら全商協会珠算・電卓研究部までご連絡ください。

敬 具

記

※同点の場合は、応用計算得点の高い方を上位とする。(ただし、団体および個人の優勝決定については、応用計算得点にかかわらず同点決勝を行う)

現行 第61回大会(平成26年)まで	<u>変更</u> 第62回大会(平成27年)より
(例) <b>1. 団体総合競技の場合</b> A校 3人の普通計算合計 740点 3人の応用計算合計 <u>760点</u> 合 計 1,500点  B校 3人の普通計算合計 800点 3人の応用計算合計 <u>700点</u> 合 計 1,500点  ※A校とB校で同点決勝を実施した。	(例) <b>1. 団体総合競技の場合</b> A校 3人の普通計算合計 740点 3人の応用計算合計 <u>760点</u> 合 計 1,500点  B校 3人の普通計算合計 800点 3人の応用計算合計 <u>700点</u> 合 計 1,500点  ※ <u>A校を上位</u> とする。
<b>2. 個人総合競技の場合</b> y選手 普通計算合計 240点 応用計算合計 <u>220点</u> 合 計 460点  z選手 普通計算合計 260点 応用計算合計 <u>200点</u> 合 計 460点  ※y選手とz選手で同点決勝を実施した。	<b>2. 個人総合競技の場合</b> y選手 普通計算合計 240点 応用計算合計 <u>220点</u> 合 計 460点  z選手 普通計算合計 260点 応用計算合計 <u>200点</u> 合 計 460点  ※ <u>y選手を上位</u> とする。

以 上